



## 【特集】伊賀市の決算状況を

報告します…………… 2

伊賀市の予算執行状況を報告します……………6

市政功労賞・善行賞受賞者……………7

平成30年度(第72回)芭蕉祭……………8

平成31年1月新庁舎が開庁します……………12

11月の二次救急実施病院……………27

※写真は9月29日に行われた「伊賀市若者会議キックオフイベント」の様子。今後、若者ならではの視点から市のPR活動などに参画します。

UD FONT ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

# 伊賀市の決算状況を報告します

## 《平成 29 年度の決算状況》

9月に行われた第4回伊賀市議会（定例会）で、平成29年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回は、その概要をお知らせします。

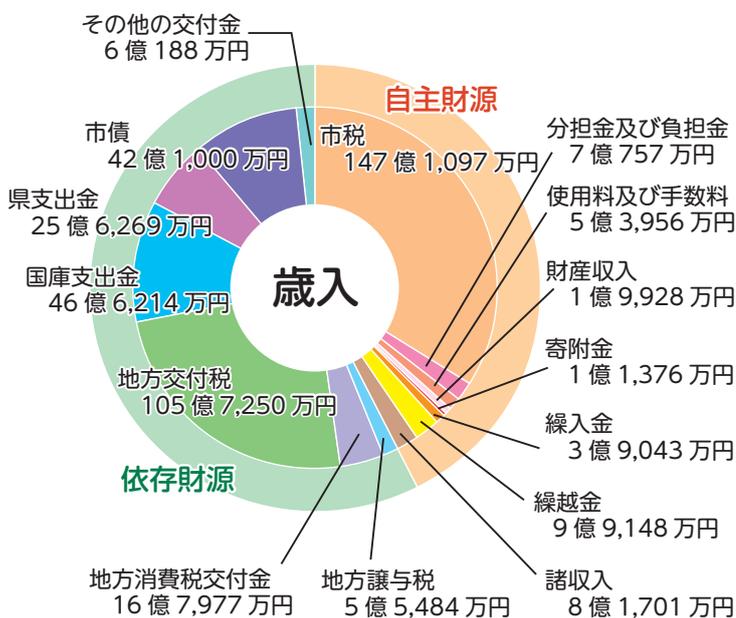
※表示単位未満を四捨五入しているため、決算書の金額（円単位）と一致していない場合があります。

【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

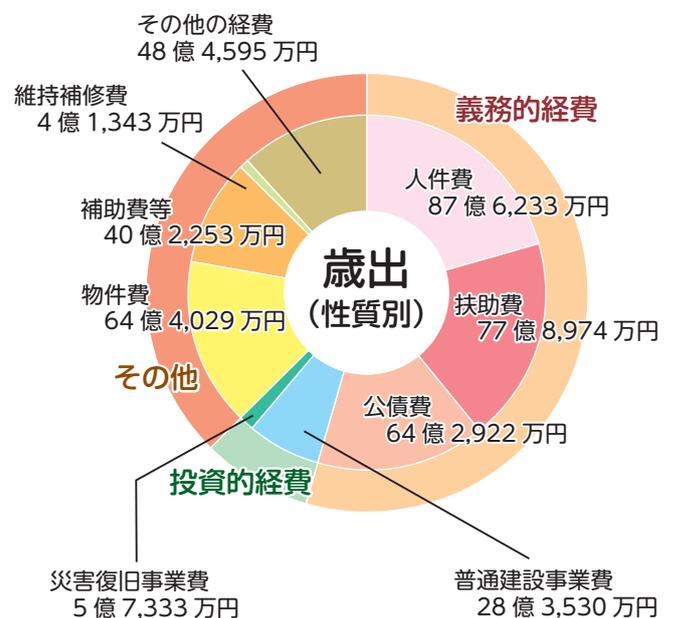


## ■ 一般会計の決算状況

▼歳入：433億 1,388万円

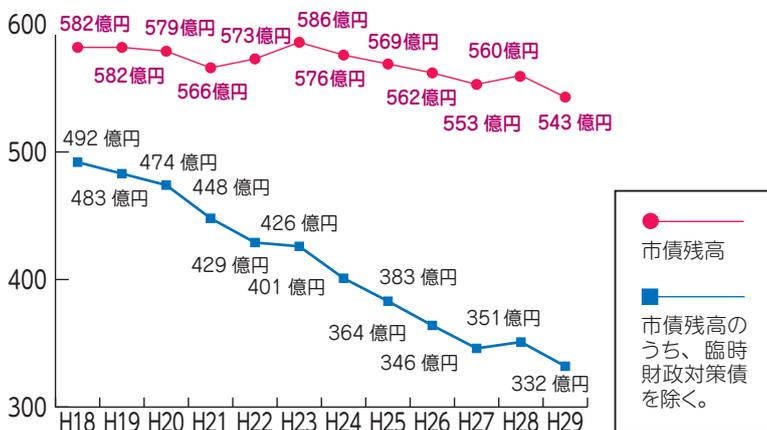


▼歳出：421億 1,212万円



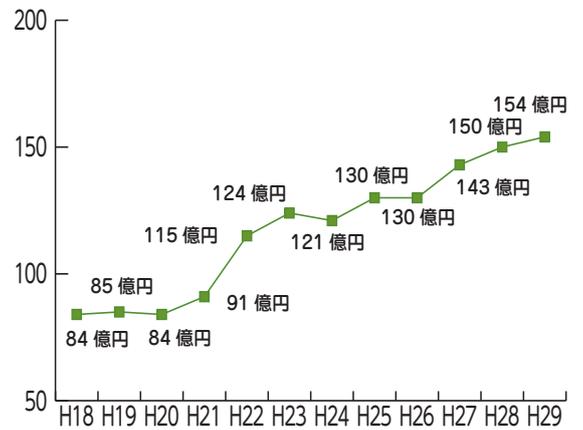
▼市債残高：543億円

市債は、いわゆる市の借金です。  
市民1人あたりでは、約59万円です。

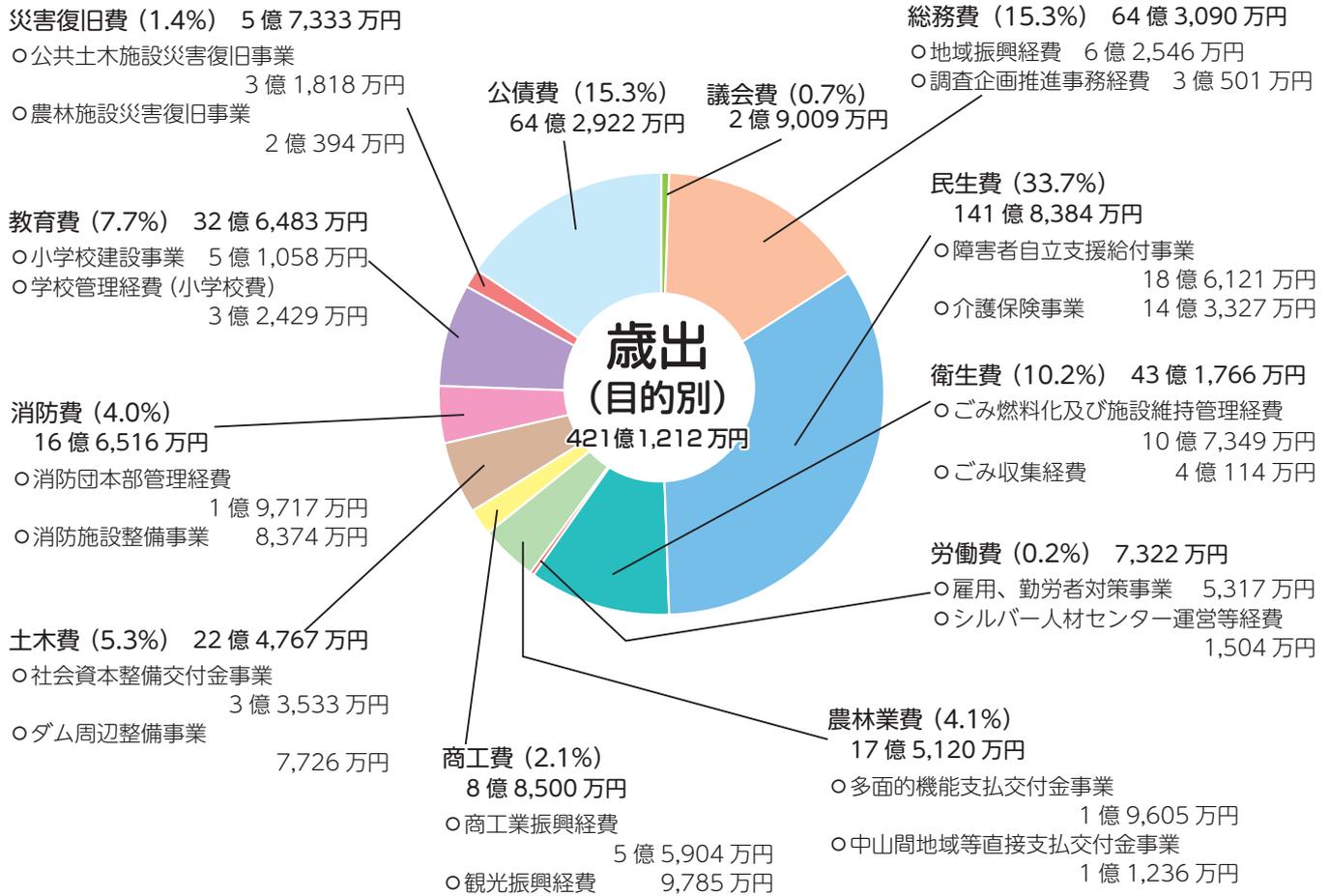


▼基金残高：154億円

基金は、いわゆる市の貯金です。  
市民1人あたりでは、約17万円です。



# 主な経費



## 市有財産の状況

区分		土地	建物	主な施設
行政財産	公用財産	118,289㎡	30,304㎡	庁舎、消防施設など
	公共用財産	3,798,060㎡	465,411㎡	学校、図書館、公営住宅、公園など
普通財産		2,839,979㎡	24,562㎡	上記以外(山林など)
合計		6,756,328㎡	520,277㎡	

## 特別会計の決算状況 (公営企業会計を除く。)

市には、国民健康保険事業など6つの事業会計と2つの財産区会計があります。

特別会計全体の基金残高は約15億円で約13億円の減、市債残高は約3千万円で約1千万円の減となります。

会計名	歳入額	歳出額	差引額	基金	市債
国民健康保険事業	111億2,013万円	109億8,727万円	1億3,286万円	5億8,888万円	879万円
住宅新築資金等貸付	1,698万円	9,505万円	▲7,807万円	11万円	1,871万円
駐車場事業	4,724万円	4,683万円	41万円	-	-
介護保険事業	104億7,802万円	102億8,527万円	1億9,275万円	5億2,733万円	-
サービスエリア	1,136万円	1,086万円	50万円	5,579万円	-
後期高齢者医療	12億1,462万円	11億9,360万円	2,102万円	-	-
島ヶ原財産区	3,021万円	2,910万円	111万円	2億2,373万円	-
大山田財産区	1,786万円	1,632万円	154万円	9,149万円	-
合計	229億3,642万円	226億6,430万円	2億7,212万円	14億8,733万円	2,750万円

## ■財政の早期健全化・再生に関する指標

地方公共団体は財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断するものとして、健全化判断比率を公表することが義務付けられています。

健全化判断比率には、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの財政指標があります。これらの比率が1つでも早期健全化基準を超えた場合、「財政健全化団体」となり財政健全化計画の策定などが義務づけられます。また、将来負担比率以外の指標が別に定める財政再生基準を超えたときは破綻（「財政再生団体」とみなされ、法律で規定する「財政再生計画」を定めなければなり

## （財政健全化法に基づく指標）

ません。

伊賀市の平成29年度の数値は、28年度の数値よりも改善しており、すべての指標においても早期健全化基準・財政再生基準を下回りましたが、県内の市の中では下位のほうになっています。そのため、市長の公約である「ムダのない財政」のもと、今後も各種事業に取り組んでいく必要があります。

※伊賀市の場合、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は黒字のため該当なし』となります。

※速報値

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率		
					病院事業	水道事業	下水道事業
伊賀市 (平成29年度数値)	該当なし	該当なし	12.2 (12.5)	79.8 (85.3)	該当なし	該当なし	該当なし
早期健全化基準	11.92	16.92	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0		
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—	—		

## 病院事業

### ■事業概要

上野総合市民病院は三重県西部の基幹病院として、全人的医療を提供し市民に信頼される病院であることを基本理念とし、役割を担ってきました。高齢化の進行や全国的な医師看護師不足が続くなか大変厳しい経営状況が続いています。こうした状況の下、地域の中核病院としての使命達成と住民の健康保持を図るため、職員一丸となって改革に取り組んでいます。

平成29年度は、本館蒸気ボイラー取替工事・新館給湯ボイラー取替工事を実施し病院機能の改良を図るほか、生化学自動分析装置やCTスキャナ装置改善整備、3D内視鏡システムなどの医療機器の購入整備を行い、医療の質を高めるよう努めました。

今後もより一層の経営効率化を進めるとともに、地域の皆さんから信頼される公立医療機関として、その役割を果たすべく努力してまいります。

### ■利用状況

	平成29年度	1日平均
外来患者数(人)	71,634	295
入院患者数(人)	72,922	200

※外来患者の1日平均人数は、患者数を年間診療日数である243日で割っています。

### ■市債残高 12億7,720万円

### ■病院事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	46億7,714万円	44億9,383万円	—	増減額	▲1億8,331万円
事業費用	46億6,355万円	45億4,660万円	—	不用額	1億1,695万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
収入	2億1,445万円	2億725万円	—	増減額	▲720万円
支出	3億4,932万円	3億1,992万円	—	不用額	2,940万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課 ☎24-1111 FAX24-1565

## 水道事業

### ■事業概要

平成 29 年度の主な事業として、伊賀市水道広域化促進事業計画に基づき、上神戸・佐那具町地内では新規給水エリアの拡大事業を、緑ヶ丘東町・緑ヶ丘本町・上野西大手町・上野丸之内・上野玄蕃町・炊村地内などでは配水管更新事業に取り組んだほか、内保・東湯舟加圧ポンプ場設備更新工事などにより施設機器の更新を図り、安定して水道水を供給できる環境を整備しました。

今後も安心安全で良質な水道水を安定的かつ持続的に供給できるように努めます。

### ■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
事業収益	34 億 8,247 万円	35 億 894 万円	—	増減額	2,647 万円
事業費用	31 億 7,206 万円	30 億 6,968 万円	—	不用額	1 億 238 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
収 入	6 億 7,251 万円	6 億 4,550 万円	—	増減額	▲ 2,701 万円
支 出	17 億 7,033 万円	17 億 2,927 万円	—	不用額	4,106 万円

【問い合わせ】 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

## 下水道事業

### ■事業概要

平成 29 年 4 月 1 日から地方公営企業法を全部適用した企業会計方式に移行して初年度の決算となります。

平成 29 年度の主な事業は、公共下水道事業長寿命化計画に基づく平成 29・30 年度の事業として、上野新都市浄化センター及び柘植浄化センターの監視制御設備等の再構築を図る電気設備工事等に取り組んだほか、農業集落排水事業では、平成 32 年 4 月の供用開始をめざし、山田南地区の管路施設工事に取り組みました。

今後、下水道普及率の向上を通じて公共用水域の水質保全に努めます。

### ■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
事業収益	26 億 3,972 万円	25 億 8,248 万円	—	増減額	▲ 5,724 万円
事業費用	26 億 5,684 万円	24 億 9,275 万円	1,247 万円	不用額	1 億 5,162 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
収 入	16 億 7,737 万円	7 億 8,389 万円	—	増減額	▲ 8 億 9,348 万円
支 出	16 億 6,609 万円	13 億 4,788 万円	3 億 745 万円	不用額	1,076 万円

【問い合わせ】 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

### ■給水状況

	平成 29 年度	平成 28 年度からの増減
現在給水戸数 (戸)	39,723	146
現在給水人口 (人)	91,930	▲ 891
年間総配水量 A (m <sup>3</sup> )	14,402,272	32,061
年間総有収水量 B (m <sup>3</sup> )	11,720,707	2,974
有収率 B/A (%)	81.4	▲ 0.1

■市債残高 143 億 6,554 万円

### ■給水状況

	平成 29 年度	平成 28 年度からの増減
行政区内人口 A (人)	92,460	▲ 903
処理区域内人口 B (人)	35,568	▲ 303
処理区域内水洗化人口 C (人)	29,512	34
普及率 B/A (%)	38.5	0.1
水洗化率 C/B (%)	83.0	0.8
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )*	3,855,830	39,243

\*使用料徴収の対象となった汚水量

■市債残高 157 億 4,374 万円

## ■一般会計の執行状況

### 【歳入】

区分	予算現額	収入済額	収入率
市税	142億6,093万円	86億1,309万円	60.4%
地方譲与税	5億5,512万円	1億4,968万円	27.0%
地方消費税 交付金	16億5,501万円	10億810万円	60.9%
地方交付税	94億9,816万円	64億3,681万円	67.8%
分担金及び 負担金	8億1,197万円	2億1,561万円	26.6%
使用料及び 手数料	5億4,484万円	2億8,663万円	52.6%
国庫支出金	55億1,659万円	16億2,968万円	29.5%
県支出金	27億7,477万円	3億240万円	10.9%
財産収入	9,563万円	4,264万円	44.6%
寄附金	7,470万円	1,860万円	24.9%
繰入金	25億8,128万円	283万円	0.1%
繰越金	12億176万円	12億177万円	100.0%
諸収入	6億1,136万円	2億1,299万円	34.8%
市債	95億905万円	0円	0.0%
その他の 交付金	5億6,130万円	2億2,557万円	40.2%
合計	502億5,247万円	203億4,640万円	40.5%

### 【歳出】

区分	予算現額	支出済額	執行率
議会費	2億9,802万円	1億5,472万円	51.9%
総務費	106億7,188万円	30億4,653万円	28.5%
民生費	139億3,751万円	50億2,569万円	36.1%
衛生費	75億850万円	14億5,460万円	19.4%
労働費	7,403万円	6,238万円	84.3%
農林業費	18億2,346万円	7億2,343万円	39.7%
商工費	4億368万円	2億4,448万円	60.6%
土木費	26億4,654万円	8億1,087万円	30.6%
消防費	16億7,179万円	7億4,044万円	44.3%
教育費	35億8,035万円	11億4,402万円	32.0%
災害復旧費	12億2,974万円	4億2,150万円	34.3%
公債費	63億7,697万円	18億4,863万円	29.0%
予備費	3,000万円	0円	0.0%
合計	502億5,247万円	156億7,729万円	31.2%

## ■特別会計の執行状況

会計名		予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
特別会計	国民健康保険事業	99億9,799万円	38億3,166万円	38.3%	38億5,701万円	38.6%
	住宅新築資金等貸付	8,579万円	550万円	6.4%	7,830万円	91.3%
	駐車場事業	4,780万円	2,017万円	42.2%	1,031万円	21.6%
	介護保険事業	100億5,263万円	43億1,123万円	42.9%	41億6,021万円	41.4%
	サービスエリア	1,035万円	522万円	50.4%	289万円	27.9%
	後期高齢者医療	12億6,313万円	3億5,251万円	27.9%	4億1,997万円	33.2%
	食肉センター	9,935万円	6,315万円	63.6%	6,173万円	62.1%
財産区	島ヶ原財産区	2,769万円	152万円	5.5%	391万円	14.1%
	大山田財産区	1,258万円	1,391万円	110.6%	77万円	6.1%
合計		215億9,731万円	86億487万円	39.8%	85億9,510万円	39.8%

## 伊賀市の予算執行状況を 報告します

### ー平成30年度上半期の財政状況ー

市の財政状況を皆さんに知っていただくため、予算に対する歳入・歳出の執行状況などを報告します。

平成30年度上半期(4～9月)の予算執行状況(9月30日現在)は次のとおりです。

※表示単位未満を四捨五入していますので、予算書の金額(千円単位)と一致していない場合があります。

### ■市税の状況(滞納繰越分を含む。)

区分	予算現額	収入済額	収入率
市民税	58億6,278万円	28億8,150万円	49.1%
固定資産税	74億3,050万円	51億2,341万円	69.0%
特別土地保有税	0円	853万円	—
軽自動車税	3億751万円	3億466万円	99.1%
市たばこ税	6億306万円	2億6,878万円	44.6%
鉱産税	5万円	2万円	40.0%
都市計画税	7万円	1万円	14.3%
入湯税	5,696万円	2,618万円	46.0%
合計	142億6,093万円	86億1,309万円	60.4%

### ■市債・企業債残高

会計名	現在高
一般会計	513億1,850万円
特別会計	2,424万円
公営企業会計	303億8,573万円
合計	817億2,847万円

### ■一時借入金はありません。

# 市政功労賞・善行賞受賞者

市の公益増進や市政の振興発展に貢献された方々にお贈りする市政功労賞と奉仕活動や善行のあった方々にお贈りする善行賞の受賞者が決まりました。市制施行14周年を迎える11月1日に表彰状を贈呈します。

## 【市政功労賞】

桃井 隆子さん（畑村）



旧大山田村議会議員を3期（6年11月）、伊賀市議会議員を3期（8年5月）と永きにわたり務められ、地方自治の振興発展に大きく貢献されました。

この間、大山田村議会では、監査委員を、伊賀市議会では、副議長、教育民生常任委員長、産業経済常任副委員長、農林業活性化特別副委員長を歴任し、議会の円滑な運営と地域発展に尽力されました。

嶋澤 正彦さん（上神戸）



平成17年4月のきじが台住民自治協議会設置当初から13年の永きにわたり、住民自治協議会長を務められ、地域社会の発展に大きく貢献されました。また、住民自治協議会代表者で構成する伊賀市上野住民自治地区連合会で平成29年6月から副会長に就任し、会の円滑な運営に寄与されました。

このほか、伊賀市少子化対策推進委員会委員や地域公共交通会議委員を務められ、各行政施策の推進に尽力されました。

西田 誠さん（三田）



財団法人（現公益財団法人）芭蕉翁顕彰会の理事・会長を12年10月の永きにわたり務められ、伊賀市とともに車の両輪となり、芭蕉顕彰と俳句啓発や市の文化振興に大きく貢献されました。

芭蕉翁献詠俳句「児童・生徒の部」の選者を28年間務められたほか、自ら芭蕉顕彰・俳句啓発を行うべく句会の開催や指導を行うなど、俳句人口の増加に尽力されました。

## 【善行賞】

種月 由紀子さん（別府）  
種月 大介さん（大阪府枚方市）



画家 故種月明氏の多数の絵画作品などを寄附いただきました。



故人は、伊賀の静かな環境に愛着を感じ、創作活動を続けられました。このたび、市民に身近に鑑賞できる場とその機会を創出できるようにとの故人の思いを受けて、作品と併せ、創作のため蒐集された蔵書・古美術、建物（美術館、茶室）とその敷地を寄附いただきました。市民の豊かな感性を育み、潤いのある生活をもたらすべく、文化振興に貢献されました。

松生 厚志さん（安場）



画家 故松生良人氏の絵画作品を多数寄附いただきました。

故人は、市展「いが」絵画部門の審査員を務められ、伊賀地域の絵画の振興に尽力されました。このたび、故人の作品を市民に身近に鑑賞していただき、芸術文化振興に役立てたいと、寄附いただきました。市民の豊かな感性を育み、潤いのある生活をもたらすべく、文化振興に貢献されました。

高岡 佳久さん（比土）



比土と古郡地区の神戸小学校児童の登下校の見守りや付き添いを、15年の永きにわたり、雨の日も風の日も毎日続けておられます。

特に、通行量の多い比土地内の国道422号を児童が横断する際には、大きな声で的確に声をかけながら安全に誘導し、天候が不順な時などの安全確保にも気を配るなど、交通事故の被害から児童を守ってこられました。また、体調不良の児童がいれば介抱し、学校に連絡するなど、通学の安全、地域安全の維持に貢献されています。

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など



平成30年度(第72回)

# 芭蕉祭

俳聖松尾芭蕉の偉業を称え遺徳を偲ぶ「平成30年度(第72回)芭蕉祭」を、10月12日(金)、上野公園を中心に行いました。

芭蕉翁銅像、文学碑への献花・献菓のあと、上野公園内の俳聖殿前で厳かに式典を行いました。式典は「芭蕉祭子ども合唱団」による「芭蕉さん」の斉唱で始まり、献詠俳句特選句の披講、懸額除幕、各受賞者への表彰などを行いました。

各部門の特選句と、一般の部で入選した市内の皆さんの句を紹介します。

【応募数】 一般の部：8,165句

テーマの部：1,709句 児童・生徒の部：24,701句

英語俳句の部：19カ国から414句 連句の部：119巻

絵手紙：787枚 ポスター原画：672枚

【問い合わせ】

文化交流課 ☎22・9621 FAX22・9619

## 一般の部 特選

### ▼有馬朗人 選

天山ははるかに聳え蟻の道  
兵庫県 小林恕水

### ▼稲畑汀子 選

伊賀の地に想ひを馳する翁の忌  
名古屋市長田道子

### ▼茨木和生 選

生身魂船幽霊は夫と言ふ  
横濱市 松永朔風

### ▼宇多喜代子 選

観覧車六月の青掬ひけり  
倉敷市 木村英一郎

### ▼小澤實 選

枇杷熟れぬ宗房書見節上げ  
江戸市 中村光声

建造中武蔵四百屯に簾  
名古屋市中沢芳治

### ▼鍵和田柚子 選

海鳴りや魂は還らず鴟の贅  
町田市 小田中柑子

### ▼黒田杏子 選

老海女の西瓜抱へて高笑ひ  
志摩市 廣 波青

### ▼坂口緑志 選

父の日や兜太先生其処に居り  
志摩市 浜口久美子

### ▼塩田敷柑子 選

接戦を制し球児の夏終わる  
長岡市 安木沢修風

### ▼棚山波朗 選

水鶏鳴く声に暮れゆく近江かな  
岡崎市 三浦葵水

### ▼西村和子 選

借景は伊賀の山並大茅の輪  
稲沢市 日比孝子

### ▼長谷川權 選

初鏡この世にひとつだけの顔  
姫路市 中野万知

### ▼星野椿 選

素十忌やともて渦見し日の遠し  
伊賀市 川瀬勝子

### ▼正木ゆう子 選

水切りを教へて帰す夏休み  
伊賀市 西野登志子

### ▼三村純也 選

面打の鑿の音ある夜長かな  
日進市 戸田絢子

### ▼宮坂静生 選

蛸壺にまどろむ月日半夏生  
横濱市 三玉一郎

### ▼宮田正和 選

草笛の歌にならねど歌ふなり  
鳴門市 三栖ツユコ

英語俳句の部 特選

▶河原地英武 選(訳)

statue of Basho  
 carrying favorite stick  
 spring breeze (春風や常の杖曳く芭蕉像)  
 Hiromi Yoshida (吉田博實) / 日本

refugee camp -  
 in the wandering wind  
 a paper plane (難民の紙飛行機が高空へ)  
 Iulian Ciupitu (イウリアン・シウピウ) / ルーマニア



連句 特選

▼青木秀樹 静寿美子 鈴木渚

西田青沙

共選(五十音順)

※半歌仙『浮世の』の巻

旅寝して見しや浮世の煤払ひ

耳元ちかく冬の波音

カフェテラスカラフルな椅子並ぶらん

榊大樹は枝を広げて

まんまるの月に願ひて描く夢

身ほとりのものなべて爽やか

村芝居石屋の親父名女形

尼僧も混じるバックコーラス

頁繰る細きあの指気にかかり

大型犬はのほほんとして

栄町路面電車が停車する

ビール次々に乾杯

激論に汗の飛び散る午後八時

国の未来を誰に託さん

風の向き右も左も定まらず

ふはりひらりと春のスカート

嬰鑠と孕寿の恩師花の下

間々に聞こえるうぐひすの声

平成三十年五月二十六日 満尾

インターネット掲示板

兵庫県 つばさ連句会

八尾

暁吉女 捌

芭蕉翁

八尾暁吉女

城依子

斎藤桂

岡部七兵衛

依子

暁吉女

七兵衛

桂

依子

暁吉女

依子

七兵衛

依子

七兵衛

依子

依子

桂



テーマの部 特選

テーマ「雪」

▼片山由美子 選

吹雪く夜は誰も無口となりにけり  
 淡雪のかたち何かに触れるまで

世田谷区 石川昇  
 枚方市 藤田康子

絵手紙 特選

奈良県 宮地政弘



ポスター原画 特選

上野東小学校三年 田中一路



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

児童・生徒の部 特選

〔保育園(所)・幼稚園・小学校1～3年〕

▼喜多富美・坂石佳音・永井みよ・東構東子・福山良子 共選 (五十音順)

はねのおとあそこにせみがかくれてる  
はのうえでにんじゅつつかうかまきりだ  
なすびつたねはあるのたべてたよ  
こおろぎがあそびにきたよよるのまど  
はんかちのなかでほたるがひかてる  
かぶとむしもりのにおいがついている  
ひまわりにベーターベンのかだいきよく  
ながれぼし一っぽんぼしのむこうがわ  
ざんやんま七十キロでとんでいる  
買物のおつりをば金赤い羽  
しあいの日にじを見つけたかてるかも  
カレンダーなつのぼうけんつめこんだ

曙保育園 市川混人  
睦保育園 山本耕輔  
みどり保育園 杉本悠真  
上野東小学校一年 山西瑛里奈  
上野西小学校一年 松本 啓  
西柘植小学校一年 なかむらかふう  
上野東小学校二年 其道侑士  
依那古小学校二年 森岡 裕  
神戸小学校二年 上ノ本愛彩  
上野西小学校三年 片山 遼  
府中小小学校三年 森 真寧  
依那古小学校三年 西岡詩織



〔小学校4～6年〕

▼岡島千秋・北村みち・佐々木経子・西村八洲子 共選 (五十音順)

ばあちゃんの畑は夏のたまたまて箱  
妹の産まれた夜の豆御飯  
国道にかかる二重の虹くぐる  
海釣りで見上げた空はうるこぐも  
語り部を引きつぐ祖母や原ばく忌  
真っ青な空にぐんぐん雲の峰  
山上の城あおぎ見るう飼舟  
かわられた先生見つけた運動会  
一等星夏の夜空の覇者になる

江東区立扇橋小学校五年 金井恵美  
上野西小学校四年 山口夢叶  
阿山小学校四年 隠岐春菜  
友生小学校五年 中川媛華  
壬生野小学校五年 坂本結大  
上野西小学校六年 富 知優  
新居小学校六年 福田晴翔  
西柘植小学校六年 中林 叶



〔中学校・高等学校〕

▼下村哲朗・土井陽代・浜地和恵・藤井充子・山村勝子 共選 (五十音順)

アスファルト雷雨打ち付け跳ね返る  
汗にじみかすんで見える得点板  
欄干に糸を張り出す朝の蜘蛛  
母さんが小さく見えた新学期  
合宿で走る山道草いさきれ  
和太鼓の音で始まる盆おどり  
運動会マイク握れば標準語  
炎天を走ってつかめ優勝旗  
体育会そろいの靴や五月晴れ  
数学の難問を解く梅雨晴間  
もろこしをかじり笑顔の輪となりぬ

緑ヶ丘中学校一年 今井湊太  
緑ヶ丘中学校一年 吉原匡洋  
東京都港区高輪中学校一年 佐々木悠  
緑ヶ丘中学校二年 松岡大夢  
城東中学校二年 森口伊吹  
霊峰中学校二年 佐古智也  
緑ヶ丘中学校三年 田場雄羽太  
島ヶ原中学校三年 川南心美  
直方市立直方第二中学校三年 出口こころ  
三重県立紀南高等学校三年 平 樹

愛知県立安城高等学校三年 石原舞子

一般の部 入選

※伊賀市在住の人のみ掲載しています。

▼有馬朗人 選

ねぢ花や仇討ありし鍵屋辻  
大茅の輪槍の又兵衛修業の地  
かなかなや谷の出小屋の黒電話  
わが代で終る稲田の波光る

永井みよ

和田美代子

神尾早智子

山本智子

▼稲畑汀子 選

朝の日に抱かれ消ゆる露の綺羅  
刈り取りしラベンダーの香を束ねけり

北村みち

子日康子

山村勝子

藤井充子

▼茨木和生 選

暑氣中り癒えて心の整はず  
夏萩の風のそよぎに色こぼす  
癌封じてふ竹盃の冷し酒

福山良子

池本準一

▼宇多喜代子 選

雨の日の杜宅の窓の紙幘

池本準一

浜地和恵

▼小澤實 選

窯焚きの火樗となす今年藁  
鍵和田柚子 選

福山良子

和田美代子

▼黒田杏子 選

空豆を炒り追想す終戦日  
伊賀に來よ兜太の腕よ翁の忌  
梅漬けの甕の酢揺らし暁の地震  
向日葵田向日葵畑ゴッホ忌來

谷本州子

中嶋國博

土井陽代

川口登子

▼坂口緑志 選

御讓位に鳴るてふ古墳巢立鷹  
山路来て祈る姿に泉汲む  
修祓終へし夏越の禰宜の杵の音  
大空へ大輪描く恋の鳶  
青葉木菟小さき寢息に添ひ寝せり

西田尚子

原 禮子

町中和子

福永愛子

松岡美都子



▼塩田菽柑子 選

地ビールに商運懸けて村興し  
熱帯夜深夜テレビの声虚ろ

葛原恵葩

山下葉苗

▼棚山波朗 選

玉砂利に音の揃ひて杜涼し  
早苗饗の子のはしやぎたる父の膝  
俳聖殿緑雨の中に包まれり  
山晴の鳥語重なる翁の忌  
れんげ野に姉と遊びし幼の日  
空に道あるかに北へ鳥帰る  
唐崎の松の支梅雨の晴  
ラジオより掛け声のして夏休み

和田柏忠

米野てるみ

佐々木経子

山下久美

西田ゆかり

保田ひろ子

中西昭子

居附泉一

▼長谷川權 選

噴水に合はせて上がる子らの声  
墨磨りて傷に塗り込む桜守  
春惜しむ峠はるか見えし時

平岡雪代

中森三津子

河口 亨

▼星野椿 選

鐵置きてしばし見とれる二重虹  
伊賀越への御斎峠は夏の霧  
七月の村を呑み込む魔の豪雨  
母の忌や一際白き百合を選る  
鈴蘭の香に包まれて結ばるる  
大橋に早も人出て螢飛ぶ  
葉櫻の参道風と詣でけり

藪中和代

豊田礼子

松村咲子

森本文子

井上英子

藤井充子

松井和子

▼三村純也 選

わが村で捕へし猪の鍋と聞く  
篝火に鶉匠の髭の映えにけり  
宮坂静生 選

岡田 節

権蛇邦子

▼宮坂静生 選

法螺貝で始まる羯鼓山開  
双眸が闇夜に光る若牡鹿  
宮田正和 選

岡島千秋

今村有理香

▼宮田正和 選

陸橋の炎暑電車の傾き來  
一塔を鳥のよぎりし秋遍路  
大空を大きく揺らし青芭蕉  
またひとつ葦辺奥より螢くる  
夏燕今一瞬の茜色  
夕さりの葉擦れに小暑来てあたり  
廃線の決まりし軌条片かげり  
墨の香の秋あらたなる写経の間  
早乙女の菅笠のまま祓はるる  
綿飴の苦手な幼な夏祭

小倉秋子

菊山時子

山下久美

森永康子

小川ひとみ

西田ゆかり

岡島千秋

松本ちい

宮谷ふさ子

菊本博子

▼片山由美子 選

病室の窓少し開け雪の屋  
あをあをと夜の雪深透せて立つ  
寺田屋の大提燈に春の雪  
有り合せの野菜スープや雪催

北田美智代

米野てるみ

中森里江

箱林のぶ子

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など